

眺望・採光・通風を確保 鉄骨ブレース補強

鉄骨ブレース補強は、鉄筋コンクリート壁補強や柱巻き補強と共に、最も多く用いられている工法である。鉄筋コンクリート壁補強に比べコストはやや高くなるが、眺望や採光、通風が確保できると共に、ファサードへの影響が少なく、室内でも閉塞感が少ない点が採用されている理由と言えよう。

【特徴】

- 眺望・採光・通風の確保が容易
- 軽量で施工性に優れている
- 剛性が低いため、偏心への影響が少ない

【建物概要】

- 所在地: 東京都調布市飛田給
- 主用途: 研究所
- 竣工年: 1956～1976 (全 12 棟)
- 建築面積: — m²
- 延床面積: — m²
- 階数: 地上 3 階/地下 1 階
- 構造種別: 鉄筋コンクリート造
- 標準工期: —
- 標準工費: 300～500 万円/枚
- 採用補強法: RC壁補強、鉄骨ブレース補強、壁スリット設置



1号館 全景



4号館 K型外部鉄骨ブレース工法



1号館 K型内部鉄骨ブレース工法



9号館 K型外部鉄骨ブレース工法



8号館 X型外部鉄骨ブレース工法